

第14回食品表示連絡会議 議事要旨

1. 日 時：令和3年10月14日（木） 14:00～15:00
2. 場 所：共用1214特別会議室（中央合同庁舎第4号館12階）
3. 出席者：（消費者庁）
高田次長、村井政策立案総括審議官、片桐審議官、
谷口食品表示企画課長、岩井食品表示対策室長
（警察庁）
住友長官官房審議官、江口生活経済対策管理官
（国税庁）
郷酒税課長、田畑酒税課企画調整官
（農林水産省）
江崎大臣官房審議官、大曲消費者行政・食育課課長補佐
（厚生労働省）
三木食品監視安全課長（オブザーバー）

4. 議事要旨

（1）開会

- 高田次長から、第14回会議の開催にあたり冒頭挨拶。

（2）食品表示制度をめぐる情勢

【消費者庁】

- 村井政策立案総括審議官から、食品表示法の一部改正による食品リコール情報の届出制度創設の概要、玄米及び精米に係る食品表示制度の改正概要、食品添加物表示制度に関する検討会についての報告。

（3）各省庁からの報告

【警察庁】

- 住友長官官房審議官の挨拶後、江口生活経済対策管理官から、令和2年中における食品の産地等偽装表示事犯の検挙状況について報告。その後、関係機関に対して、厳格な立入検査による不正行為の発見、警察に対する早期の情報提供、都道府県警察と地方出先機関等との連携強化について要請。

【国税庁】

- 郷酒税課長から、国税庁における酒類の表示の適正化に関する取組について報告。また、新たな原料原産地表示制度への対応について、経過措置期間の終了までに事業者が円滑に移行できるよう、引き続き適切な指導に取り組んでいく旨発言。

【農林水産省】

- 江崎大臣官房審議官の挨拶後、大曲課長補佐から、原料原産地表示制度の普及啓発の状況、来年からスタートする水産流通適正化制度の概要、令和2年度食品表示等監視実績等について報告。また、水産流通適正化制度の適正な運用にあたって、関係省庁の連携について要請。

【厚生労働省】

- 三木食品監視安全課長から、食品等のリコール情報の報告制度の概要について報告。

【消費者庁】

- 岩井食品表示対策室長から、食品表示に関連する法律の執行、健康食品に関する表示の監視の取組状況、食品表示連絡会議、食品表示監視協議会の運営・活動状況、食品表示法及び景品表示法の執行実績等について報告。

(4) その他

【消費者庁】

- 片桐審議官から、警察庁からの要請を受けて、関係機関、特に地方機関と本局との連携強化、事実関係に基づき適正な処分を行う厳格な立入検査の実施、悪質な事案への対応強化を図るため、早期の情報提供及び共有に努める旨発言。